

こんな声がありました!

ケース入りの飲料容器がへこんでいる!

# 「箱が大丈夫でも中身がへこむ!?!」



あ〜! ケース買ったジュースの缶がへこんでる!

私もペットボトルの注ぎ口がめり込んでいて交換してもらったことがあるわよ。



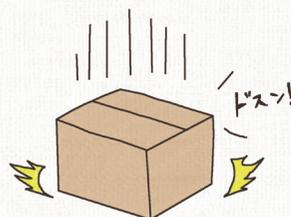
ダンボールに変形はないし、作っている工場に変形したのかしら??

もしかして、工場できちんと管理されていないのかなあ。



## 輸送中に衝撃が加わって容器が変形することがあるのじゃよ。

ケースに衝撃が加わると、ケースに変形がなくても、その衝撃で中の容器が変形することがあります。缶の場合は容器側面がへこみ、ペットボトルの場合は注ぎ口がめり込んだ状態になります。工場では箱詰めを機械が自動でおこなっており、製品に衝撃が加わることはほぼありません。

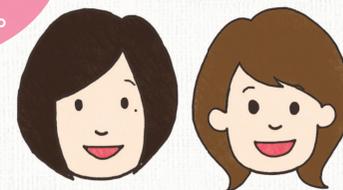


### POINT 落下以外にもこんなことで!

容器変形の多くの原因はケース自体の落下などの衝撃が要因となりますが、ペットボトルの場合には、ケース天面に重いものが落下するなどの衝撃でも変形することがあります。



そっか〜 おうちでも「ドン!」と置いたりしないようにしなきゃね。



### 豆知識

#### ステイオンタブのお話

今では一般的となったステイオンタブですが、実はCO・OP商品がさきがけて採用したのはご存知ですか? 日本の缶飲料は、長くプルタブが使用されていました。プルタブは缶から完全に取り外して開缶するため、取り外したプルタブがゴミとして道端に捨てられることも多く、野生動物や家畜が飲み込んでしまうことがありました。当時、日本生協連の缶飲料の商品開発担当が、海外で使用されていたステイオンタブに着目しました。



そして、1990年に発売した製品でステイオンタブを採用し、その後、開発されるCO・OP商品の缶飲料も順次ステイオンタブへ切替えていきました。現在では日本の缶飲料は、ほとんどがこのステイオンタブ方式になっています。